

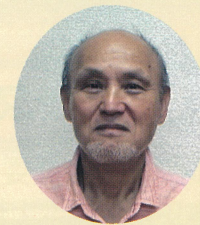


令和7年度総会開催 新体制で地区の力を結集！



4月25日(金)午後1時30分から永昌町公民館において、今年度の御館山校区社会福祉協議会総会が開催されました。参加された方々の熱心な審議により、令和6年度の事業報告・収支決算報告、令和7年度の事業計画・収支予算案が承認されました。今年度は、2年ごとの会長選任の年に当たり、永昌町の道越会長から、永昌東町の西会長にバトンタッチされました。また、新たに西栄田町の老人会長になられた江口久子さんが理事に就任されました。さらに、嬉しいニュースとして、これまで本会に未加入だった「大さこ町自治会」に加入の動きがあることが報告されました。

(総会后、大さこ町は、第2自治会が今年度から入会決定、第1自治会も検討中とのことです。) 加入世帯が増えて、本会の活動が一層充実していくことが期待されます。



西 善次

西 善次

今年度、御館山校区社会福祉協議会会長を仰せつかりました永昌東町自治会長の西善次です。日頃より皆様方には社会福祉活動に温かいご理解とご協力ありがとうございます。

前会長道越さん、スタッフのご尽力で一昨年から社会福祉協議会だよりが発行され、校区の社会福祉活動が特にわかるようになりました。

御館山小学校は、開校70年が過ぎ、市内で一番多い児童数になりました。新幹線開通でマンション建設が進み、人口も増え、諫早の玄関口として発展しようとしています。交通の便がよく、総合病院や専門クリニックなど医療機関も充実しており、高齢者の皆様も安心して暮らせる環境が整っています。

しかし、自治会加入者の伸び止まり、高齢者の自治会への未加入者が増え、子ども会入会者が減少し、社会問題化しようとしています。

自治会だけでは解決できないことが増えてきました。行政と協力し、この広報を通じて住みよい楽しい街づくりの一端になればと思います。

令和6年度収支決算

収入の部

前年度繰り越し	395,941
社協会費	244,000(100×2,440世帯)
市社協助成金	871,900(運営費、活動費)
その他	70,173(寄付金、預金利息)
合 計	1,582,014

支出の部

会議費・総会費	52,284(地区会長会議・総会他)
事業費・報酬費	960,477(いきいきサロン他)
負担金	244,000(市社協へ)
慶弔費	10,000
事務・通信費	10,998
交通費	3,000(研修会時)
合 計	1,280,759
次年度繰り越し	301,255

令和7年度収支予算

収入の部

前年度繰り越し	301,255
社協会費	292,800(120×2,440世帯)
市社協助成金	875,300(運営費、活動費)
その他	1,145(寄付金、預金利息)
合 計	1,470,500

支出の部

会議費・総会費	55,000(地区会長会議他)
事業費・報酬費	982,700(いきいきサロン他)
負担金	244,000(市社協へ)
慶弔費	40,000
事務・通信費	25,000
交通費・雑費	15,000(研修会時)
予備費	108,800
合 計	1,470,500

永昌町 ふれあいいきいきサロン訪問！

みんなで心と身体 の健康作り！！

永昌町のいきいきサロンは、毎週火曜日9時半から11時まで、毎回30人くらいの方が永昌町公民館に集い、和気あいあいと活動しています。まず、全員でラジオ体操を行い、屋内外に分かれて活動しています。屋内では、①椅子体操(筋トレ)、②ハーモニカ伴奏に合わせて合唱、③若返り体操(認知機能向上転倒予防)を行います。屋外ではグラウンドゴルフを行い、雨天時はラダーゲッターなどのゲームをしています。



昨年度から、月初めには近くのリハビリセンター「ハイタッチ」の石井代表が訪問され、健康に有益な話と体操指導をしてくださるので楽しみにされている方も多いようです。また、市の地域包括ケア推進課に申し込み、手ばかり栄養・脳トレなどの教室も実施しています。年3回、親睦のための食事会も行っています。



参加されている皆さんは、「町内の方と顔見知りになれてよかった」「来られる時は来て楽しく参加しています」などと言っておられます。また、久々に故郷に帰省された方が「ここに来れば懐かしい人たちに会えるから、火曜日に合わせて戻りました」と笑顔で話されたのが印象的でした。

身近に気軽な交流の場があります。参加されたことのない方、毎週火曜日、永昌公民館でお待ちしています。気軽に遊びにきてください。健康長寿に役立つこと満載ですよ。

シリーズ

わが町の元気さん 第3回

栄田町の山崎昭義さん(89歳)です！

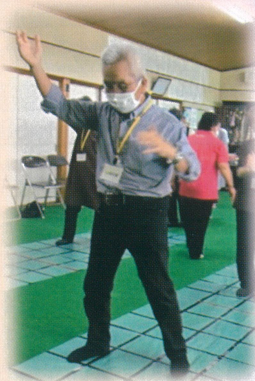
山崎さんは、栄田町に子どもの頃からお住まいで、仕事で県外に転勤された期間もありましたが、栄田町に戻って来られて、現在は奥様とご長男さんと一緒に暮らしておられます。

平成22年から31年まで御館山校区社会福祉協議会の事務局長や会長を歴任され、その間にたくさんの方々のご協力をいただいて、いきいきサロンや子育てサロン等を立ち上げられたそうです。それらの活動が今も活発に続けられていることを大変喜んでおられます。

現在は、週3回のグラウンドゴルフと、週2回の温水プールでの水中歩行やクロール、月3回のいきいきサロンで体を動かされています。また、栄寿会(老人会)の定例会では、みんなで歌う時に、山崎さんがハーモニカを演奏されているそうです。

とてもパワフルな山崎さんに元気の秘訣を尋ねたところ、「モットーにしている言葉は『歩け 転ぶな 風邪ひくな』です。これは、私の先輩がよく言われていた言葉で、これによって自分はずいぶん励まされてきました。数年前に庭仕事をしている時に腰を圧迫骨折し、今でもリハビリで通院しています。転倒して打撲することもあります。でも、できるだけ体を動かして、人と交流し、くよくよしないで気持ちを前向きにしようと心掛けています。食事も好き嫌いなく食べるようにしています。」と和やかに話してくださいました。

山崎さんが今後ますますお元気でご活躍されることを祈念いたします。



*このコーナーでご紹介できる方を募集します！御館山校区在住の方、自薦・他薦どちらでも結構ですが、他薦の場合は、ご本人の承諾が条件です。永昌町公民館までお知らせください。

諫早消防署と民生委員等による高齢者宅訪問

諫早消防署では、春の火災予防運動の取り組みの一環として、地域の民生委員や女性消防団と連携し、一人暮らしの高齢者世帯を定期的に訪問しています。訪問の際には、次のことに着目して防火指導等を実施しています。皆さんのご自宅は大丈夫でしょうか？

気を付けてほしい家の中での火災予防のポイント

- * 火気の近くに燃えやすいものはないか。
…暖房器具の近くの衣類は注意！仏壇の線香は半分に折る。灰がたまったら掃除を。
- * コンセントがタコ足配線になっていないか。
- * 逃げ遅れを防ぐ住宅用火災警報装置が正常に作動するか。

チェック
しましょう

また、併せて健康状態等の聞き取りも行い、急な体調不良の際には、

119番 通報し、救急車を要請するようにお話ししています。

その他、不審電話にも要注意！！

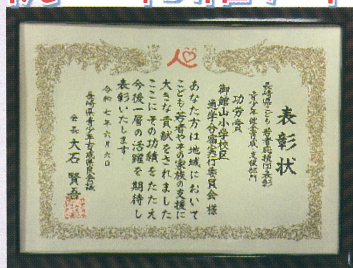
- * 点検業者や消防関係者を名乗って、不正な防災用品等売り付ける訪問販売などの電話事案が発生しています。

消防署では、消火器等の点検・販売は一切行っていません！
むやみに署名したり個人情報を変えたりしないでください！

訪問してもらった高齢者の方々は、「火災報知器をつけていないので、早速つけます」「消火器も点検が必要なのですね」「日頃気をつけているけど、安心しました」と感想を述べてくださいました。

不審な電話は
すぐ切りましょう

祝 令和7年度長崎県子ども・若者応援団表彰受賞！



6月6日、御館山小学校区通学合宿実行委員会(古賀龍也委員長)が長崎県青少年育成県民会議(会長・大石賢吾知事)から表彰されました。これは、平成27年度から実施している「通学合宿」が、家庭や学校との連携と共に、地域住民の130名が参加する体制をつくるなど地域全体で青少年の育成に努めていることが高く評価されたものです。今年度も11月24日～28日の4泊5日で開催予定です。地域の皆様のご協力をお願いいたします。

永昌東町「祈り…命をつなぐ水害慰霊の日」

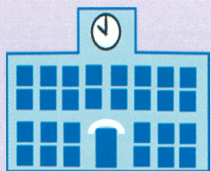
諫早大水害の犠牲者を悼むため、永昌東町では、毎年7月25日に駅前公園の水害復興記念碑前で慰霊祭が営まれています。昭和32年の大水害では、永昌東町だけで102名の方が犠牲になりました。

式典では、御館山稲荷神社の藤本宮司によるお祓いの儀に続き、大久保市長をはじめ、多くの参列者が故人の御霊に祈りを捧げました。

夜には「諫早万灯川まつり」が開催され、地域の小学生や住民が万灯の準備を行いました。諸事情により今年度、子ども会が休会しましたが、御館山小学校の協力を得て、小学生のボランティアを募集したところ、町外からも協力する子どもたちが集まってくれました。このことは、西善次自治会長が強調されている諫早大水害の体験を若い世代に語り継ぎ、慰霊祭の意義を浸透させることにつながったと思います。本明川に灯された2万灯の一部は、こうした地域の手によって川面を彩り、幻想的な光景を作り出しました。

安心して暮らせる町、未来へ希望がつながる町を、地域の力で育てていきたいと改めて思いました。





学校との連携

今年度、明峰中学校に着任された岡野校長先生、教員生活のスタートが明峰中だったとのこと。ご挨拶文をお願いしたところ、快く寄稿してくださいました。



「優しさとさわやかさのプレゼント」

明峰中学校 校長 岡野 利男

「中学生の素直さ、ひたむきさ、笑顔は周囲に伝播する」私が生徒によく話すことです。「だから、あなたが出会う人に、元気をもらえた・笑顔になれたと感じてもらえるように『優しさとさわやかさ』をプレゼントしよう」とも伝えています。住む“まち”に優しさとさわやかさをプレゼントする中学生。それが夢です。

一方、中学時代が多感なときであることは、言うまでもありません。中学生は、時に迷い、苛立ち、傷つきながら、自分探しを続ける旅人です。だからこそ、地域の方からの「いってらっしゃい」「お帰りなさい」は魔法の言葉として中学生に届きます。中学生に優しさとさわやかさを届ける地域の方。宝物です。温かなプレゼント交換ができれば素敵だと思います。



地域とつながる連携協定！
宅島建設様からの申し出により、「協育宣言」を交わしました。明峰のグローバル教育を支えてくださいます。

明峰中・御館山小で学習支援ボランティア



5月14日～16日の3日間、明峰中学校から、2年生の家庭科「浴衣を着よう」の学習で、地域の支援ボランティアの要請がありました。早速、各町内の民生委員・児童委員、婦人会の方々等呼びかけたところ、のべ23人の方が協力してくださいました。

また、御館山小学校からは、4月24日に2年生の生活科「町たんけん」の授業で引率ボランティアの要請があり、民生委員・児童委員を中心に8人の方が子どもたちに付き添いました。

さらに、6月末から7月にかけては、5年生家庭科の初めての裁縫の授業で、1クラスに10人ほどの地域ボランティアの方々子どもたちの学習を支援しました。



どの授業でも、保護者より年配の子育てが終わった皆さんと子どもたちとの微笑ましい交流があり、参加されたボランティアさんたちからは「子どもたちに元気をもらった」、先生たちからは「一人一人に行き届いた指導ができてよかった」、子どもたちからは「丁寧に教えてもらってできるようになった。楽しかった。」という感想が聞かれました。

これからも、学校・家庭・地域が一つになって、幼児から高齢者まで住みやすい地区であってほしいものだと思います。

寄付御礼

本協議会に香典返しとして寄付をいただきました。ありがとうございました。

有効に活用させていただきます。

＊永昌町 芦塚正剛 様
(亡父 正 様)

編集後記

諫早大水害から68年、被爆から80年を迎えた今年、追悼と共に防災減災、平和への誓いを新たにした夏でした。第5号は、各町内の特色ある活動や学校・関係機関との連携を取り上げました。取材へのご協力に感謝申し上げますと共に、地域の皆様のご感想・ご意見等をお寄せいただきますようお願いいたします。

統計史上初の6月の梅雨明け以降、連日の猛暑と熱中症警戒アラートの発令が続いています。皆様、どうぞご自愛ください。

広報部：古賀セイ子、道越貴代美、木戸 祥子、中川 秀子、松藤 千鶴、川原みゆき、土居 美香



連絡先事務局 永昌町公民館(TEL 26-3803)